「蒲郡港を軍事利用するな」

愛知県平和委 市民などと抗議

日米共同統合演習「キーン・ソード27」（10月19日から29日に実施）で部隊や自衛隊車両などの輸送訓練を南西諸島で行ったとみられる自衛隊の借り上げ船「PFI船舶」が8日、愛知県蒲郡市の三河港（蒲郡港）で積み下ろし作業をしました。

県平和委員会はこれに合わせ、寄港した岸壁近くで抗議行動を実施。全長220メートルを超える大型フェリーからトラックなど自衛隊車両数台が搬出されたのに対し、集まった市民は「蒲郡港を軍事利用するな」と声をあげました。日本共産党の日恵野佳代蒲郡市議と安間寛子、佐藤郁恵の両豊川市議も参加しました。

積み下ろし作業の工程などを参加者に解説した元港湾労働者の吉井桂司・県平和委員会副理事長は、「特定利用空港・港湾に指定された三河港は、平時においても日常的に軍事利用がされるようになります。監視活動と指定の撤回を要求しよう」と訴えました。



PFI船舶（奥）の近くで抗議する参加者＝8日、愛知県蒲郡市